

発言通告書の要旨(一般質問)

令和8年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件 名	要 旨
9/8 (火)	1	2 大平国明	1、ふるさと納税について	・寄附額増に向けた取り組みについて ・返礼品開発や新規事業者開拓について ・観光や商業と組み合わせた返礼品について
			2、防災対策について	・避難所チェックシートについて ・防災訓練、講習会の計画について ・災害ボランティアについて
			3、新設豊中小学校について	・熱中症対策について ・旧小学校跡地について
	2	11 瀧本哲史	1、三豊市の財政状況について	現在全国の地方自治体では、各地で財政状況が悪化していると報道されている。そういった中で、数年前から三豊市でも財政状況を懸念する声が内外から上がっている。財政状況について質問する。
			2、みとよ市民病院の経営状況について	公立病院の経営状況が、全国的に苦しい状況にある。総務省の発表によれば、2024年度決算で自治体が運営する全国678の公立病院事業全体の経常収支は、過去最大の3,952億円である。赤字となった病院の割合も、過去最大の83.3%となった。みとよ市民病院も開業当初から、経営が厳しい状況にある。経営状況について質問する。
			3、豊中小学校について	豊中小学校が開校して、様々な問題を保護者や市民の方からお聞きする機会がある。豊中小学校の問題について質問する。
	3	1 篠原一馬	1、三豊市グランドデザインの進捗と今後の方針について	「三豊市グランドデザイン」とは、三豊市が将来どのようなまちを目指すのか、その将来像やまちづくりの方向性を描いたものである。平成31年3月の策定から7年以上が経過したことから、策定の目的及び経費、本庁舎周辺の進捗状況を伺うとともに、民間事業との連携を含め、今後の方針及びスケジュールを問う。
			2、高瀬線・荘内線のデマンド交通への移行と今後の公共交通について	高瀬線・荘内線のデマンド交通への移行について、その理由、運行内容及び経費を問う。また、財田町で実証運行している乗合タクシーとの比較・検討状況を確認するとともに、地域住民や交通事業者の意見を踏まえ、乗合タクシー方式も含めた地域の実情に応じた公共交通の在り方を問う。
			3、生活道路の法定速度下げに伴う周知・啓発について	令和8年9月1日から、生活道路の法定速度が原則30km/hに引き下げられた。本市では、市民への周知や、警察・学校等と連携した啓発活動をどのように行うのか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和8年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件 名	要 旨
9/8 (火)	4	14 込山文吉	1、公共施設の長寿命化とファシリティマネジメントについて	6月議会答弁で「個別施設計画に修繕時期や概算費用を整理するとともに、公共施設包括管理業務委託の導入を検討している」との考えを示された。 (1)個別施設計画について、施設ごとの修繕履歴、点検結果、劣化状況、更新時期、概算費用などを一元管理する、いわゆる「施設カルテ」の考え方を取り入れる予定はあるのか、その考えを聞く。 (2)全国では、公共施設を経営資産として管理する「ファシリティマネジメント」の考え方が広がっている。点検結果や修繕履歴をデータベース化し、計画的な施設管理に活用する仕組みが必要だと考える。ファシリティマネジメントの考え方を取り入れた公共施設管理へ発展させる考えがあるのか、その考えを聞く。 (3)個別施設計画の見直しに当たり、施設の重要度や利用状況だけでなく、ライフサイクルコストを踏まえた優先順位付けをどのように行う考えなのか、その考えを聞く。
			2、年金増額が負担増につながる制度の矛盾と、高齢者の生活を守るための対応について	年金の物価スライドは生活を守るための措置であるにもかかわらず、その増額分が各制度の負担増につながり、結果として手取りが減少するのであれば、本来の政策目的と矛盾する。 (1)物価スライドによる年金増額によって、住民税非課税世帯から課税世帯へ移行した市民はどの程度いるのか。 (2)その結果、国保税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、高額介護サービス費、高額療養費などの負担増が発生している実態を把握しているか。 (3)年金の物価スライドによる増額分まで課税所得として扱うことが、物価高対策の趣旨に反し、実質所得を減少させる結果となっていることについて、どのような認識を持っているか。また、制度改善について国へ要望する考えはあるか。その考えを聞く。
			3、身寄りのない高齢者等への支援強化について	本年6月、社会福祉法等の一部を改正する法律が成立した。 (1)身寄りのない高齢者や身元保証人がいない方に関する相談や支援について、どのような現状と課題を認識しているのか。 (2)改正法は令和9年4月から施行される。新たな支援制度を円滑に実施するため、庁内体制や関係機関との連携を含め、どのような準備を進めていく考えなのか、その考えを聞く。 (3)法改正では、小規模自治体における包括的支援体制の構築や、アウトリーチによる早期発見・早期支援の充実が重視されている。関係機関が連携した支援ネットワークを構築、地域共生社会の実現に向けて取り組む考えがあるのか、その考えを聞く。
	5	9 井出喜久美	1、無断転用農地をめぐる相続人の負担と未然防止策について	(1)無断転用農地を相続した相続人への対応について (2)課税の現況と農地法上の整合性について (3)無断転用を防ぐための周知について (4)税務課と農業委員会の連携による早期発見と相続人への負担軽減について
			2、みとよ市民病院における宿泊型産後ケアの実施について	(1)人材確保の柔軟なアプローチについて (2)療養環境の課題克服について (3)産後うつ予防と市内受け皿づくりの決意について (4)みとよ市民病院の赤字経営の現状と今後の展開について

発言通告書の要旨(一般質問)

令和8年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件 名	要 旨
9/9 (水)	6	3 眞鍋範子	1、香川県民の日を活用した郷土愛の醸成について	前回6月の一般質問では、香川県民の日の創設について、本市としてその趣旨を深く理解し、全面的に賛同するとの答弁であった。また、県との連携を図るとともに、子どもたちをはじめ市民の皆様が、ふるさと香川、そして三豊市の魅力に触れ、郷土への愛着を一層深める機会として、関連イベントや市内施設の無料開放・割引などを検討しているとの答弁であった。 その後、県との連携や本市における関連イベント、市内施設の活用等について、どのように取り組みを進めているのか、具体的な実施内容について伺う。
			2、子どもの育ちを支える居場所と地域資源の活用について	子どもたちの健やかな育ちのためには、保護者への支援だけでなく、子ども自身が安心して過ごし、遊びや様々な体験・経験を通して、自らの可能性を広げることのできる環境を整えることも重要であると考えます。子どもの「遊び」や「体験・経験」を大切にしたい子どもの育ちを支える居場所について、公園をはじめとする既存の施設や地域資源をどのように有効活用し、子どもや子育て家庭のニーズに応じた居場所づくりにつなげていくのか、さらに、地域団体や民間事業者等との連携を含め、今後の考え方と方向性について伺う。
	7	15 浜口恭行	1、熊本地震の教訓を踏まえた猛暑期の災害対応について	令和8年熊本地震では、真夏の発災により熱中症対策、飲料水確保及び避難所環境の整備が大きな課題となった。本市はこの災害からどのような教訓を得ているのかを伺う。 (1)南海トラフ地震が夏季の猛暑時に発生し、電気・ガス・水道などのライフラインが停止した場合を本市はどのように想定しているのか。また飲用水の備蓄及び給水体制について、市民及び避難者の何日分を想定して備蓄されているのかを聞く。 (2)携帯トイレや簡易トイレなどの整備状況や避難者数に対する充足状況を、再度伺う。 (3)停電時における避難所の空調確保や熱中症対策についてどのような想定なのかを伺う。 (4)本市からの職員派遣は、どのような手順で行われ、対応されたのかも伺う。
			2、地域公共交通と自動運転バスについて	本市でも人口減少や少子高齢化の進展に伴い、地域公共交通を取り巻く環境は大きく変化し、特に運転者不足や利用者数の減少により、公共交通の維持は全国的な課題となっている。 詫間地区では、3回目の自動運転バスの実証運行が実施されているが、市民からは期待の声がある一方で、費用対効果や安全性、導入の必要性について様々な意見が寄せられている。 本市の地域公共交通の現状と課題を踏まえ、将来にわたり持続可能な交通体系をどのように構築していく予定があるのか、自動運転バスやデマンド交通の本市の位置付けを聞く。
	8	10 近藤 武	1、農林水産業事業団について	本年3月の代表質問において、農林水産業事業団の設立構想について質問した。その際には、事業団の法的形態、財政負担や出資割合、既存の農業法人やJA等との役割分担、さらには赤字が発生した場合の責任と公共性について、具体的に確認をしたが、この半年間で何を検討し、何が決まり、何がまだ決まっていないのか、また実現までの具体的な工程について、3月議会で質問した内容を、今回具体的に確認する。
			2、本市における狩猟者支援と、持続可能な鳥獣被害対策について	「鳥獣被害対策」「狩猟免許取得支援」「鳥獣被害対策実施隊員」など鳥獣被害対策の効果をどう把握し活用しているのか、捕獲者数ではなく捕獲能力を把握し対策すべきではないか、銃猟を含む専門的な捕獲人材の確保や捕獲技術の向上について免許取得から技術継承までを一つの仕組みにしてはどうか、などについて質問する。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和8年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件 名	要 旨
9/9 (水)	9	5 伊藤幸洋	1、市役所の窓口開庁時間について	3月議会で質問した開庁時間について進捗状況を問う。
			2、公的精神科医療の存続について	みとよ市民病院の精神科医師確保と病棟の維持について
			3、歩車分離式信号の導入について	市民・児童・生徒の安全を守るための交通環境整備と歩車分離式信号の導入について
			4、志々島における公衆トイレの設置について	観光客や地域住民の利便性向上のための公衆トイレ新設設置について問う。
	10	16 詫間政司	1、カマタマーレ讃岐と三豊市の「食」を通じた継続的な連携について	三豊市の20周年記念事業の一つに、カマタマーレ讃岐との「三豊サンクスデー」が企画されている。一日だけの取り組みに終わらせるのではなく、「食」を通した継続的な連携について問う。
			2、流域治水と県管理河川の流下能力向上について	これまでの3回の一般質問を踏まえて、県河川に流入する流域における流量調査の検討状況と、今後の事業化計画について問う。
			3、ふるさと住民登録制度を活用した新たな教育・関係人口政策について	地域だけですべての教育環境を整えることが理想だが、人口減少が進む中で、地域だけで完結させることは現実的でない。ふるさと住民登録制度を活用した、教育を軸とした関係人口政策について問う。
	11	13 水本真奈美	1、熱中症対策と脱炭素につながるプロジェクトについて	本市は2050年カーボンニュートラルを目指し積極的に取り組んでいるところであるが、近年、猛暑が継続する中、熱中症対策とプラスチックごみ対策を目的としたマイボトル利用促進の一環として、マイボトル用給水スポットを公共施設や屋外に設置し、市民の健康を守り、脱炭素につながる取り組みを提案する。お考えを伺う。
			2、災害発生後の業務運営や受援体制について	大規模災害発生後は避難所運営や物資の供給、災害廃棄物対応、雇災証明発行、被災者相談などの業務が急増する。まず、災害による直接死や災害関連死が発生した時の対応について、次に、災害発生後の業務は、被災自治体だけで対応することは困難になるため、平時から受援体制を整備する事が求められている。人的受援計画とその実効性について伺う。 (1)人的受援計画は策定されているのか、策定時期、受援計画の対象業務について (2)必要人員数と不足が見込まれる職員数を事前に業務ごとに算定できているのか。 (3)人的応援を要請する判断基準、責任者、県や応援協定自治体への要請ルートは明確になっているのか。 (4)応援職員の受け入れ統括体制、執務場所、通信環境、宿泊場所、各部局への配置と指揮命令の方法は整備されているのか伺う。
			3、低出生体重児と家族への支援について	(1)本市の低出生体重児の現状 (2)母乳バンクの取り組みであるドナーミルクの提供やドナー登録の状況 (3)極低出生体重児にとって、感染症や合併症等のリスクを減らすため、出産後すぐに母乳を与えることが有効であり、毎日届けるための母乳パックや搾乳機購入の助成の考えを伺う。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和8年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件 名	要 旨
9/10 (木)	12	6 青井和樹	1、包括業務委託について	三豊市が導入を予定している包括業務委託について、本年5月に総務常任委員会および教育民生常任委員会にて説明がなされた。この政策は、行政サービスを支え三豊市の発展に尽くされてきた会計年度任用職員を受託企業に転職させるものである。行政サービスが急激に悪化するのではないかと、市長あてに多数の署名とともに「政策の見直し」を求めて要望書が提出された。三豊市の将来を大きく左右する政策であるにも関わらず、委員会における執行部の説明は具体性に欠けるものであることから以下の問題点について伺う。 (1)教育現場における指揮命令系統・責任の曖昧化について (2)会計年度任用職員の雇止めについて (3)専門性の不足と教育の質の低下について (4)個人情報保護とリスク管理について (5)合意形成・意思決定プロセス上の問題について (6)将来的な財政への影響について
	13	8 高木 修	1、公共施設の維持管理コストについて	(1)3月議会で総務部長から公共施設の維持管理コストが年間35億円に上るとの発言があったが、それは大変な状況だと思う。具体的に、その内訳を示していただきたい。 (2)その削減策はどのように考えているのか。
			2、教育委員会スポーツ振興課における、事務ミスによるtoto補助金受け取り漏れへの対応について	(1)1、200万円の欠損という重大事案である。責任の所在をどのように認識しているのか、また関係者をどのように処分するのか、考えを問う。 (2)体育館天井剥離対応工事がストップしたままだが、子どもたちや市民に危険性はないのか。 (3)なぜこの件だけマスコミ発表しないのか。
			3、三豊ベーシックインフラ整備事業の成果について	(1)瀬戸内ビレッジ(株)との契約によると、令和5年3月までに複数のサービス提供を開始することになっていたが、それはどのようになっているのか。 (2)業務委託料の支払いは、検査合格後となるが、前払い金を含め、総額2億460万円の支払いに際して、成果物は誰がいつ、どのように確認、検査したのか教えていただきたい。 (3)事業推進にあたっては、市プロジェクトチームと連携することになっているが、その関係は今も継続しているのか。 (4)もし契約履行に不備があるとすれば、契約解除および違約金請求に進まなければならないと思うが、市長はどう考えているのか。 (5)国への結果報告は、いつ、どのようになされるのか。

発言通告書の要旨(一般質問)

令和8年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件 名	要 旨
9/10 (木)	14	7 丸戸研二	1、行財政改革への取り組みと令和9年度当初予算の編成について	(1)現状 行政を取り巻く環境は常に変化している。合併から20年、三豊市は大きな節目を通り過ぎようとしている。 (2)課題の認識 事務事業の見直し(棚卸し)効果で当面对応できるのか。 (3)行財政改革にどう取り組むのか。(取り組みへの意思、考え方と方向性) (4)令和9年度当初予算の編成にどう取り組むのか。(主要事業の取り組みと安定財源の確保)
			2、道路や河川等の計画的整備について	(1)絶え間ない需要 インフラは常に劣化している。 対応が遅れれば交通安全の確保や災害対応に支障が出る。 (2)対応 どう需要に対応していくのか。(過疎地域発展の実現)
			3、放課後児童クラブの在り方について	(1)財田の放課後児童クラブの現状 狭いスペースで全員一緒に活動している。(小学1年～6年まで) (2)課題 管理者の目が行き届かない危険性がある。(子供たちは動き回っている。) (3)対応 抜本的な対応が必要ではないか。
	15	12 湯口 新	1、避難行動要支援者登録制度について	避難行動要支援者登録制度は有効かつ重要な施策だが実効性のあるものとなっているか。
			2、部活動の地域展開について	部活動の地域展開によって取り残されている生徒が出ていないか。現状の問題点と対策を伺う。
			3、市内図書館(図書室)の今後について	令和6年第3回定例会において質問した図書館の活用についての現状と今後の動きについて質問する。
	16	4 香川貴志	1、賑わい創出について	自然観光PR、空き家・古民家を利用した宿泊施設の推進、農業・漁業など自然環境を生かした起業や移住の推進といった様々な取り組みがあるが、現在の課題や解決策、今後の展望について伺う。
			2、中高年齢者の健康対策について	健康寿命対策はこれからの三豊市には必要不可欠な課題であると考えているが、現在の取り組みと、今後の展開について伺う。
			3、豊中地区旧小学校の今後の利用について	旧小学校の再利用について考えを伺う。

発言通告書の要旨（一般質問）

令和8年第3回定例会

質問日	質問順	議席/氏名	件 名	要 旨
9/10 (木)	17	17 田中達也	1、避難所の生活環境(QOL)向上と災害時における生活用水確保について	大規模災害時、避難生活の環境悪化に伴う災害関連死を防ぐことは極めて切実な「命の政策」であり、トイレや手指衛生を支える生活用水の確保はその最重要課題である。 従来型の「備蓄と給水車」による外部支援給水を基本としつつ、道路寸断やラストワンマイルの配送人員・車両の不足といった輸送ボトルネックを多重的に補完するためには、地域水源をその場で高度浄化・循環利用する自律的な「分散型水インフラ」の構築が不可欠ではないか。 災害時に活用可能な「地域の井戸」を体系的に利用する仕組みを構築するとともに、津波による孤立リスクが高い沿岸部や島しょ部、さらには主要避難所等の地域特性を踏まえ、海水淡水化装置や循環式ユニット(水再利用・浄化)等の分散型水源を導入・配置し、外部支援と現地自給が協調する多重的な避難所水セキュリティ体制を段階的に整備すべきと考えるが、市長の見解を問う。